Table with 4 main columns: 事務事業名, 基本政策, 事業期間, 事業の内容. Includes details like '中長期財政計画管理事業', '情報と連携の都市づくり', and '事業費の主な内訳'.

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Table for activity and target information. Includes '活動', '22年度活動実績', '23年度活動予定', '対象', '財政運営', '意図', '上位目的', and '持続性'.

Table for activity and target indicators. Includes '活動指標', '対象指標', '成果指標', and '上位成果指標' with columns for name, unit, and value.

(2) 事業費・指標の推移

Large table showing financial trends from 2021 to 2026. Columns include '単位', '21年度', '22年度', '23年度', '24年度', '25年度', '26年度', '最終年度'. Rows include '国庫支出金', '事業費計', '活動指標', '対象指標', '成果指標', '上位成果指標'.

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table for context and opinions. Includes questions like 'この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?' and '事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?'.

(4) 改革改善の取り組み状況

Table for reform and improvement status. Includes '改革改善の取り組み実施は?' and 'これまでの改革改善の取り組み状況・経過'.

事務事業名	中長期財政計画管理事業	所属部	総合政策部	所属課	財政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由】
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由】 今後10年間に於ける本市財政の健全性を確保するための指針となることから、行政が主体になることが妥当である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由】 財政計画を更新していくことで、中長期的な視点で健全財政のあり方が常に議論されていくため、継続していく必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない 【理由】 行政評価システム、総合計画実施計画はもとより、定員適正化計画の進行管理と連動をさせることにより、より経営的な視点(重点・効率・効果の追求)で行政経営を前進させることが可能となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) ☐ 統廃合ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統廃合ができない 【理由】 ☒ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容】 財政計画により将来財源を担保しているため、中長期的な視野での財源議論ができなくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由】 人件費のみの直営方式により見直すため。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない 【理由】 試算条件、試算方法及び課題や具体的方策の基本的事項の整備を行うことにより、一層の業務時間の短縮が図られる。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由】 社会情勢の変化などにより目標値の誤差は生じてくるが、「財政運営、総合計画、行政改革」との連動により、無駄を省いた行政サービスにするための財源配分が可能となる。 これにより、財政の健全性を確保しつつ、不安の無い行政サービスを受益者(市民全体)に提供することができる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	この事業は、施策別枠配分の財源的な根拠として重要な役割を担っています。 さらに、財政の健全性を確保するための目標及び根拠としての活用を図り、行政改革及び総合計画との連携を図っていく必要があります。 また、ポイントを整理し、分かりやすい方法での公表が必要です。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性、の結果) ☐ 事業統廃合・連携(有効性、の結果) ☐ 公平性改善(公平性、の結果) ☐ 休止(目的妥当性、の結果) ☒ 成果向上(有効性、の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性、の結果) ☒ コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td>☒</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☒	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について わかりやすい表現により、市民や職員に向けて周知する。 総合計画及び行政改革との連動を常に意識し、これらの目標化を徹底し前進させる。 施策別枠配分との整合性(時期・金額)を意識する。 試算方法の明確化を意識する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 計画(H24～H33)の公表時には同時に概要版を作成する。 総合計画実施計画及び行政改革大綱実施計画での目標設定に結びつく計画内容にする。 アンテナを高くもって目標額を精査し、施策別枠配分の時期を踏まえた見直しを行う。 試算方法に係る資料を整理する。	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					